

Ⅱ 区民生活を支えるために 重点的に取り組む施策

- 1. DXの推進や業務の効率化に向けて . . . 14
- 2. ウォーカブルなまちづくりで
『つながる都心』の実現へ . . . 16
- 3. 『2050 ゼロカーボンちよだ』を
めざして . . . 18
- 4. 分野別重点施策
 - (1) 命と健康を『まもる』取組み . . . 19
 - (2) 生活を『ささえる』取組み . . . 22
 - (3) 明るさや賑わいを『つくる』取組み . 25

1 D Xの推進や業務の効率化に向けて

DX

Digital Transformation

令和4年度予算額

17億6,826万円^(※)

～ 区政を新しいステージへ、D Xでチャレンジ ～

※ 全庁LAN基盤のリブレースやオンライン手続関連の予算額

大切にしてきたサービスはそのままに、
デジタル技術で区民の多様な幸せを実現

社会のあり様や価値観、ライフスタイル、ワークスタイル等が劇的に変化し、行政サービスのデジタルシフトのニーズが高まっています。

また、日本全体の人口減少や少子高齢化による労働力不足を見据え、生産性をより一層向上させていく必要性があり、改めてサービスや業務の進め方を見直す時期を迎えています。

この転換期をチャンスと捉え、D X（デジタル・トランスフォーメーション）を推進し、区民の多様な幸せの実現をめざします。

CONCEPT

～ D Xを進める上で大切な視点 ～

だれもが**幸せ**な社会に



区民が選択できる

来庁でも、オンラインでも、T P Oに応じて様々な方法の中から自由に**選択**できます。



区民一人ひとりを個でとらえるサービス

〈CRM「千代田区民・リレーションシップ・マネジメント」の実現〉

サービスごとに対象者をみるのではなく、「その区民にはどういったサービスがあるか」という考えのもと、**区民一人ひとりの状況に応じた柔軟な対応**を実現します。



温もりのあるサービス〈Face to Face〉

リアルでも、バーチャルでも、これまで区が大切にしてきた一人ひとりに**寄り添った**サービスを引き続き大切にします。



デジタルワークフローの実現

デジタルを基点とした業務の進め方に変革します。

ACTION

～ 区民サービス向上の取組み ～

いつでも、どこでも、だれもが
自分にあった方法を選択して、サービスを受けることができるように



あなたの手元に区役所が！？ 区と区民の結節点をオンライン上に構築

- オンライン申請・決済、予約、ビデオ通話、メッセージのやり取り、申請履歴の確認といった様々な機能を集約したポータルサイトを構築
- T P Oに応じて様々な方法から都合の良い手段を自由に選択可能に



来庁時はスマートにご案内

- 窓口でキャッシュレス決済が可能
- 何度も書かせない ワンスオンリーなスマート窓口を実現



行政手続のオンライン化やだれもがデジタル化のよろこびを受けられる取組みをはじめ、様々な分野でデジタル技術を基点とした取組みを実施していきます。

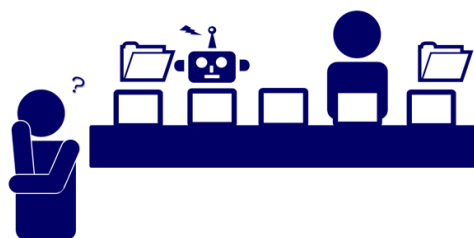
ACTION

～ 職員の生産性向上の取組み ～

新たな業務基盤の構築にいち早く着手！
働く環境、働き方も新しいステージへ！

|| 場所にとらわれない働き方の実現

スピーディーな業務遂行による生産性向上と職員の多様な働き方を実現するため、全庁 L A N 基盤等の一新とペーパーレス化に取り組むとともに、職員の活動に応じたスペースを適切に配置することで生産性の高い新しい区役所をめざします。



|| 行政事務の効率化による生産性の向上

区民に寄り添う時間を増やすため、単純作業など高い定量効果が見込める業務は抜本的な B P R（業務改善）を推進します。

R P A や A I を導入し、将来的なマンパワー不足に備えるとともに、付加価値の高い業務に注力できる環境を整備します。

※上記を除く D X 関連事業については、「4 分野別重点施策」で紹介します。

2 ウォーカブルなまちづくりで『つながる都心』の実現へ

WALKABLE



人中心のまちづくり
～ まちなかをリビングに ～

令和4年度予算額
3億9,115万円

コロナ禍からの復興と都心生活の質(QOL)向上



出典：国土交通省HP

道路や公園、公開空地、グランドレベルの沿道建物用途、さらに、水辺空間など。それらを地域の個性や課題に沿ってデザインし活用して、歩きやすく居心地の良いまちづくりを推進します。

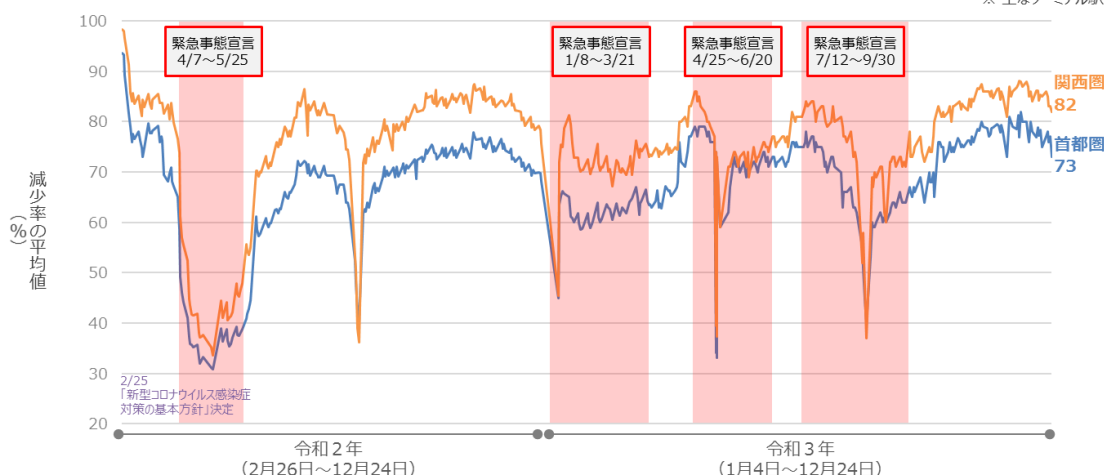
そして、日常を豊かにするとともに、イベント・祝祭を通じて地域の愛着・つながりを高めていきます。

都心から人が消えた…

“WALKABLE”でコロナ禍からの復興を

テレワーク・時差出勤呼びかけ後のピーク時間帯の駅※利用者状況推移

※ 主なターミナル駅



国土交通省 各日の駅の利用状況 (首都圏・関西圏：速報値) をもとに作成

<ウォーカブルなまちづくりに向けた取組みのイメージ>

道路を
公園に変える
(丸の内ストリートパーク)



路地空間を
まちのリビングに
(パーキングデイ神田)



お濠を身近な
親水空間に
(外濠の水質浄化)



- 歩きやすい道路の整備や河川・濠の水質浄化といった安全・安心・環境整備
- 公共空間活用の魅力あるデザインとマネジメントの担い手の育成・支援
- 公共空間と繋がる建物グランドレベルの用途誘導に向けた都市計画手法の検討
- 特色ある商業・文化の継承や、まちなかにおけるアートの展開

これら様々な取組みを横断的・戦略的に展開していきます。

※ 令和4年度予算における主な取組みについては、「4 分野別重点施策」で紹介します。

3 『2050 ゼロカーボンちよだ』をめざして

Zero Carbon City Chiyoda

令和4年度予算額
1億9,459万円

2050 ゼロカーボンちよだをめざして

業務系省エネ加速、RE100・ZEV推進、地方連携モデル構築

さらに、**2030** ゼロカーボン区域創出へ向け

「脱炭素先行地域※」をめざす



※再生可能エネルギーの導入や省エネなどにより、電力消費に伴う二酸化炭素の排出を2030年までに実質ゼロにする地域。対象となるのは、市区町村単位のほか、自治体が指定した商店街等も含まれます。

Zero Carbon City Chiyoda

千代田区と地方都市との **ダブル官民連携モデル** 構築へ



※ 令和4年度予算における主な取組みについては、「4 分野別重点施策」で紹介します。

4 分野別重点施策

(1) 命と健康を『まもる』取組み

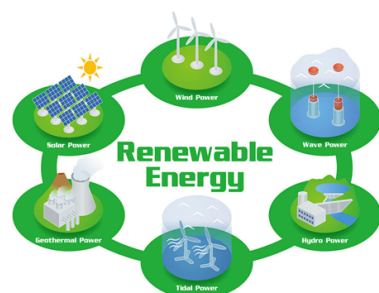
▶ 「2050 ゼロカーボンちよだ」 の実現に向けた取組み

Zero Carbon

**地球温暖化に立ち向かう！
再エネ電力の普及促進で脱炭素化を推進！**

予算額 1億 9,459万円

拡充



主な取組み

- **ゼロカーボンフォーラムの開催** (P118)
先進的技術や知見を有して脱炭素化に取り組む区内の企業や団体等の取組みや次世代の意見を広く発信し、区内の脱炭素化に向けた取組みを促進
- **地方連携による産地指定の再エネ供給・再エネ施設整備の検討** (P118)
森林整備協定を締結している高山市や婦恋村などの地方と連携し、産地指定の再生可能エネルギーを区内事業者へ供給する仕組みの構築や再エネ施設の整備を検討
- **再生可能エネルギー電力への切替促進** (P118)
家庭や区内事業所の契約電力を再生可能エネルギー電力へ切り替えるきっかけづくりとして、啓発品の支給や認証制度を開始
- **クリーンエネルギー自動車の購入・充電設備設置への助成** (P118)
クリーンエネルギー自動車や充電設備の普及促進のための助成制度を新設
- **区庁舎へのEV充電設備の設置** (P118)
区有車における電気自動車等の導入を積極的に進めるため、充電設備を区庁舎に設置

▶ 新型コロナウイルスから 区民の命を守る取組み

ワクチンの追加接種体制を継続！

予算額 4億 8,439万円

継続

**迅速な健康観察の実施や
クラスターの発生に備えた検査体制を確保！**

予算額 8,185万円

継続



主な取組み

- **新型コロナウイルスワクチン接種対策** (P60)
追加接種(3回目)の実施体制を継続し、ワクチン接種を希望する区民が円滑に接種を受けられるよう、集団接種(会場)や個別接種を実施
- **新型コロナウイルス対策** (P59)
外出ができない自宅療養者への速やかな食料提供や、保健所業務のひっ迫改善に向けて、健康観察業務やクラスター発生時のPCR検査業務のアウトソーシングを実施

▶ 妊娠・出産・子育ての 不安を安心に変える取組み

不安の多い妊娠期から子育て期を支える
相談・支援体制がさらに充実！

予算額 4,309万円 **拡充**



主な取組み

- **オンラインを活用した妊婦面接の実施** **DX**
出産・子育ての不安軽減や妊婦の健康維持・増進を図るため、全ての妊婦との面接をめざし、本庁窓口で妊娠届を提出した場合でも保健所の保健師等との面接をオンライン上で実施できる体制を確保
- **妊婦面接を受けた方へ「育児パッケージ」を贈呈** (P75)
保健師等による妊婦面接を受けた妊婦に対し、育児に必要なものを揃えた1万円相当の「育児パッケージ」(「とうきょうママパパ応援事業」)を配付
- **産後ケア事業の「通所型」を新設** (P75)
「訪問型」産後ケアの対象を、産後4か月から1年未満まで拡大するとともに、ホテル等の居室でゆったりと専門スタッフによる相談・指導を受けられる「通所型」を新たに開始し、産後の孤立化、産後うつ、児童虐待を未然に防止

▶ 安全で快適に暮らすための 生活環境改善に向けた取組み

喫煙所の積極的な整備で
喫煙者と非喫煙者の共生をめざします！

予算額 5億 7,202万円 **拡充**

客引き防止対策を強化！

予算額 9,597万円 **拡充**



主な取組み

- **喫煙所への高機能脱臭機等整備費用を助成** (P81)
公衆喫煙所周辺の環境測定(臭いや粉じん等)を行い、高機能脱臭機等の整備が必要と判断された喫煙所に対し、200万円を上限に整備費用を助成(補助率:10/10)
- **喫煙所設置100か所の早期達成** (P81)
路上喫煙の苦情の多い箇所に対し、喫煙トレーラーを配備するとともに、目標である喫煙所設置数100か所を2年前倒しで達成
- **客引き行為等の防止対策** (P81)
風営法に抵触するような営業形態の店舗や過激な衣装を着用した客引きの増加などを受け、民間警備員によるパトロールを強化

▶ もしもの時に備える 防災・減災の取組み

 **地**域の防災力向上を支援します！

予算額 1,184万円

拡充

 **避**難行動要支援者の
安心・安全の確保に努めます！

予算額 1,213万円

新規

拡充



主 な 取 組 み

● 防災意識の普及・啓発 (P125)

災害時における避難所の運営体制を強化するため、区内に住所を有し、避難所運営協議会の委員長に推薦された方を対象に、防災士資格取得にかかる費用を全額助成

● 個別避難計画の作成 (P57)

高齢者や障害者など、避難が困難な「避難行動要支援者」ごとの個別避難計画の作成に向け、ケアマネジャーなどの作成支援者と協力しながら、要介護3～5など優先度が高い方から個別避難計画を作成

● 福祉避難所の対応力強化 (P57)

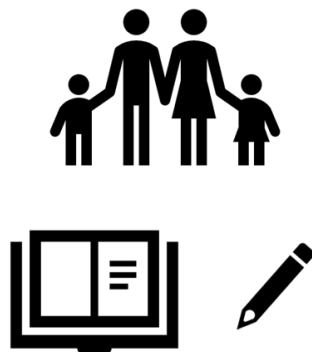
心身の状況から、災害発生時に一般の避難所での生活が困難な方向けの福祉避難所について、図上訓練や実動訓練の実施及び運営マニュアルを作成

(2) 生活を『ささえる』取組み

▶ 子育てにかかる 経済的負担を軽減する取組み

区独自の「次世代育成手当」で
子育て世帯を所得に関わらず支援！
予算額 3億 6,277万円 拡充

生活困窮世帯等の子どもの学習を支援！
予算額 4,824万円 拡充



主な取組み

- **次世代育成手当の支給** (P42)
令和4年6月以降、国の児童手当の改正により児童手当の支給対象外となる世帯に対して、国に代わり、所得制限のない区独自の「次世代育成手当」月額5,000円を支給
児童手当や区独自の誕生準備手当(45,000円)と併せて、妊娠期から始まる全ての子育て世帯を力強く支援
- **生活困窮世帯等の子どもの学習場所・居場所の増設** (P77)
生活困窮世帯等の子どもの学習支援(学校の勉強、宿題、復習等)と居心地の良い場所の提供体制をより充実させるため、会場の少ない神田地域に新たな会場を開設

▶ 早期の発見・療育指導につなげる 子どもの発達支援に関する取組み

子ども発達センター「さくらキッズ」や
関係機関の支援体制を強化！

障害児通所支援サービスや
専門療育機関等利用費用の負担を軽減！

予算額 1億 9,785万円 拡充



主な取組み

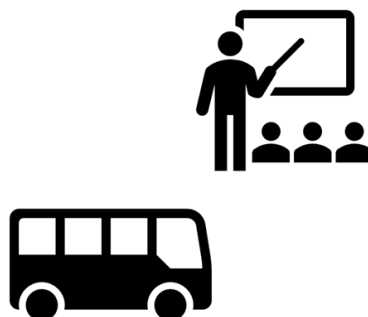
- **「さくらキッズ」への看護師配置とペアレントメンターの活用** (P43)
「さくらキッズ」に新たに看護師を配置し、医療的サポートが必要な場合も安心して利用できるよう、支援体制を強化
また、発達に課題のある児童等の子育て経験がある「ペアレントメンター」を活用した個別相談や懇談会等を実施し、保護者支援の充実を推進
- **教職員の指導力向上と関係機関の連携強化**
発達支援に関する専門研修等の機会を充実させ、教員や職員の指導力向上を促進
また、学校・園、保健所、「さくらキッズ」等の関係機関の連携を強化し、一人ひとりの子どもを包括的に支援
- **専門療育機関や障害児通所給付にかかる利用者負担の軽減** (P43、44)
障害や発達に課題のある児童が専門の療育機関等で相談、検査及び療育指導等を受けた場合の助成対象を0歳児及び1歳児にまで拡大し、早期の療育指導を支援
また、児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの利用者負担について、幼児教育・保育無償化対象外の0歳児から2歳児についても区が独自に全額補助し、保護者負担を軽減

▶ 障害のある子どもの 学校・地域生活を支える取組み

 **特** 別支援学級を麴町地区に新設！

 **通** 学支援は登校時に加え下校時にも実施！

予算額 8,342万円  拡充



主 な 取 組 み

● 特別支援学級の新設 (P47)

知的な発達に遅れのある児童を対象とした特別支援学級を千代田小学校に加えて富士見小学校にも新設
多様なニーズに対応した指導・支援の充実により、インクルーシブ教育を推進

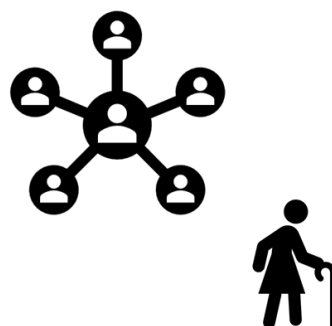
● 特別支援学級の通学支援の充実 (P47)

千代田小学校及び富士見小学校への通学支援（添乗員付きの車両を運行）を、登校時だけでなく下校時にも実施することで、保護者負担をさらに軽減

▶ 安心して地域生活をするための 高齢者の支援に関する取組み

 **相** 談窓口の増設や多様な媒体を活用し、
孤立しがちな高齢者の見守り体制を強化！

予算額 7,204万円  拡充



主 な 取 組 み

● 高齢者の見守り相談窓口の増設 (P66)

介護サービス利用のないひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯を対象とした見守り相談窓口を、神田地域に続いて麴町地域の高齢者あんしんセンターでも実施することで、孤立しがちな高齢者の生活実態の把握と関係機関との連携による見守り体制を構築

● おくすり手帳を活用した見守り (P65)

「おくすり手帳を活用した見守りシール」を配付し、医療機関や介護事業所等の関係者と連携した高齢者の見守りや緊急時の支援体制を強化

● 区内企業・大学と連携した、地域における認知症サポート (P69)

認知症の方を含む高齢者にやさしいまちづくりの実現に向けた社会機運醸成に向け、認知症の正しい理解を持ち、認知症高齢者等を支える取組みを積極的に実施している企業や大学を「千代田区認知症サポート企業・大学」として登録

▶ デジタル技術の活用で 保育園業務を効率化する取り組み

 **専用システム導入で園内業務を支援！
保育園利用に係る保護者の利便性が向上！**

予算額

1,264万円

新規



主な取り組み

- **園児の体調等をデータベース化**  (P 38)
園児の健康状態をデータベース化し、園内の職員間で迅速に情報共有することで、よりきめ細かな対応が可能に
- **保護者との情報共有を円滑化**  (P 38)
専用システムを活用することで、連絡帳のやり取りや緊急連絡などの情報共有が迅速化し、連絡の正確性が向上
- **保育園の複雑な事務作業をデジタル化**  (P 38)
日誌や指導案の作成、登降園時間の登録管理、延長保育料の管理等をデジタル化することで、園内の事務作業を効率化し、保育士の業務負担を軽減

(3) 明るさや賑わいを『つくる』取組み

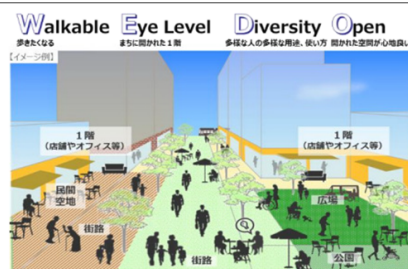
▶ 多様なつながりが生み出す 豊かで活力あるまちづくり

ウォーカブルなまちづくりで
「つながる都心」の実現へ！

予算額 3億 9,115万円

新規

拡充



出典：国交省HP

主な取組み

- **プレイスメイキング等の実証実験の実施** (P98)
「(仮称)ウォーカブルまちづくり戦略」に基づき、都市の中に居心地の良い場所、楽しく過ごせる場所(プレイス)を作る「プレイスメイキング」等の実証実験を実施
- **エリアマネジメント推進ガイドラインの検討** (P99)
地域が地域の価値を向上させる活動にチャレンジできるよう、公共空間等の活用方法やエリアマネジメント手法に関するガイドラインを策定
- **川沿いのまちづくりガイドラインの検討** (P99)
都心における貴重な水辺空間である神田川や日本橋川等のポテンシャルを活かすためのガイドラインを策定
- **歩道のセミフラット化推進** (P105)
無電柱化、バリアフリー化、歩道設置・拡幅などの道路整備が完了している路線のうち、セミフラット化されていない歩道について、波打ちや段差のない歩きやすい歩行空間を確保するため、調査を実施
- **千鳥ヶ淵緑道の維持管理改善** (P114)
一年を通じて散策や憩いの場として、眺望や美しいみどりを楽しみながら安心して歩けるよう、千鳥ヶ淵緑道の維持管理方法を見直し、計画的・一体的管理を実施

▶ 千代田区の特性を活かした 地域活性化に向けた取組み

地域特性を活かして産業の活性化を促進！

予算額 3,000万円

新規

だれもが楽しめるスポーツ体験を！

予算額 735万円

拡充



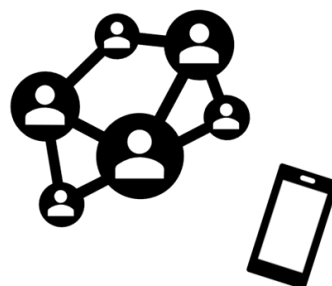
主な取組み

- **新たな産業の振興** (P83)
千代田区にふさわしい新しい産業の振興とブランド力の向上を図るための調査・検討を実施
- **イノベーション創出の促進** (P83)
スタートアップと呼ばれる革新的なビジネスに取り組む事業者と区内の大学・大企業等との交流によるイノベーション創出を検討
- **障害者スポーツ・eスポーツ体験** (P85)
障害者スポーツ体験イベントにおいてeスポーツの種目を追加し、スポーツの普及啓発を推進

▶ 地域コミュニティの 活性化を促進する取組み

 ハードとソフトの両面から
デジタルツールの活用を支援し、
地域コミュニティの活性化を促進！

予算額 5,092万円



主 な 取 組 み

- **コミュニケーションツールの体験講習会やツール活用の支援体制を整備** DX (P 89)
新型コロナウイルス感染拡大により、対面でのコミュニケーションの機会が減る中、地域コミュニティの活性化を図るため、区内でコミュニティ活動を行っている方を対象に、コミュニケーションツールの体験講習会を開催
ツールの活用にあたっては、臨時ヘルプデスクの設置とともに、訪問支援や個別相談などのアフターフォロー体制も併せて整備
- **I C T機器活用環境の整備費用を助成** DX (P 89)
コミュニティ活動を行っている方が、新たにスマートフォンやパソコン等の端末、Wi-Fi機器等のI C T機器の活用環境を整備する費用について、I C T機器活用計画書の策定を前提に、50万円を上限に令和5年度までの時限で助成（補助率：10／10）